

平成 31 年 2 月 14 日

こども科学館開館 30 周年記念特別展

「アポロ展～月をめざした人類の軌跡と未来」 の開催について

今年 1 月 28 日は、こども科学館が開館して 30 年になります。また 7 月にはアメリカのアポロ 11 号が人類で初めて月面に足跡を印してから 50 年となることから、開館 30 年を記念して特別展を開催します。月の石や砂などの展示や、米ソを中心とした月に対する宇宙開発競争の歴史、月に関する研究成果、現在、国際協力により注目を集めている月・火星探査の将来計画などについてパネル等で解説します。また、関連した講演会の開催やプラネタリウム番組の投影を行います。

記

1 アポロ展～月をめざした人類の軌跡と未来

- (1) 開催期間 平成 31 年 2 月 23 日 (土) ～3 月 31 日 (日)
(休館日 毎週月曜日、3 月 22 日)
平日 12 時から 17 時
土・日曜・祝日・春休み期間 (3 月 26 日 (火) から 3 月 31 日 (日)) 10 時～17 時

- (2) 会 場 コニカミノルタ サイエンスドーム (こども科学館)

- (3) 入 館 料 大人 200 円、4 歳～中学生 100 円

- (4) 展示内容 NASA から借用した 2 種類の月の石 (アメリカ アポロ 15、16 号採取)、月の砂 (ソ連 ルナ 16、20、24 号採取)、アポロ 17 号船内作業服、宇宙服模型、アポロ宇宙船模型、サターン 5 型ロケット 1/144 模型、JAXA 月周回衛星かぐや 1/16 模型、解説パネルなど



月の石 (斜長岩、アポロ 16 号採取)

2 関連講演会「ふたたび月へ」

50年前に人類が初めて月に着陸して以来、日本の探査機を含む多くの月探査機により月の様子が良くわかってきました。これからは月に滞在して月を人類社会のために利用したり楽しんだりする時代が始まろうとしています。これまでの月探査と近い将来の月での人類の活動についてお話させていただきます。

- (1) 日 時 2月23日(土) 13時30分～15時
- (2) 講 師 佐々木 進先生(宇宙航空研究開発機構JAXA名誉教授、理学博士、元・月周回衛星「かぐや」プロジェクトマネージャ)
- (3) 会 場 こども科学館プラネタリウム
- (4) 入館料 大人 200円
中学生以下 無料

3 関連プラネタリウム番組「スペースエイジ～宇宙を目指すものたち」

ロシアの世界初の人工衛星スプートニクからアメリカのアポロ11号の月着陸、ボイジャーの惑星探査、スペースシャトル、国際宇宙ステーション、未来の宇宙探査までを全天周コンピューターグラフィックで再現。(前半は星空の生解説)

- (1) 放映期間 平成31年2月23日(土)から4月7日(日)(予定)まで
- (2) 時 間 平日 14時から
土・日曜・祝日・春休み期間
(3月26日(火)から4月7日(日))
14時30分から
- (3) 入館・観覧料
大人 650円(入館料200円含む)
4歳～中学生 200円(入館料100円含む)

<問い合わせ>

生涯学習スポーツ部 こども科学館(コニカミノルタサイエンスドーム)

館長 遠藤 電話042-624-3311